

# 二国間クレジット制度（JCM）による 温室効果ガス削減への取り組み

2019年11月29日

株式会社 多摩川ホールディングス

## 公募による事業者採択決定のお知らせ

環境省および同省執行団体である公益財団法人地球環境センター（GEC）が公募した「2019年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」に当社（株式会社 多摩川ホールディングス）が共同事業者として採択されました。

## プロジェクト内容

本プロジェクトは、**インドネシア・東ヌサ・トゥンガラ州**のフローレス島の Wae Lega 川（流域面積:20Km<sup>2</sup>）に **1.75MW**の**小水力発電施設**を導入し、**インドネシア国有電力会社**に対して売電を行い、温室効果ガス(GHG)の削減や、JCM クレジットの獲得による我が国の温室効果ガス削減に貢献するものです。

## インドネシアの電力普及に貢献

**東ヌサ・トゥンガラ州の電化率は61.9%**とインドネシア国内で最も低い地域であるため、本事業による電力普及の早期実現が望まれております。

## 採択案件の概要

案件名：インドネシア東ヌサ・トゥンガラ州における

1.75MW 小水力発電プロジェクト

パートナー国：インドネシア共和国

想定温室効果ガス排出削減量：6,856tCO<sub>2</sub>/年

代表事業者：AURA-Green Energy 株式会社

共同事業者：株式会社 多摩川ホールディングス

PT.GISTEC PRIMA ENEGINDO

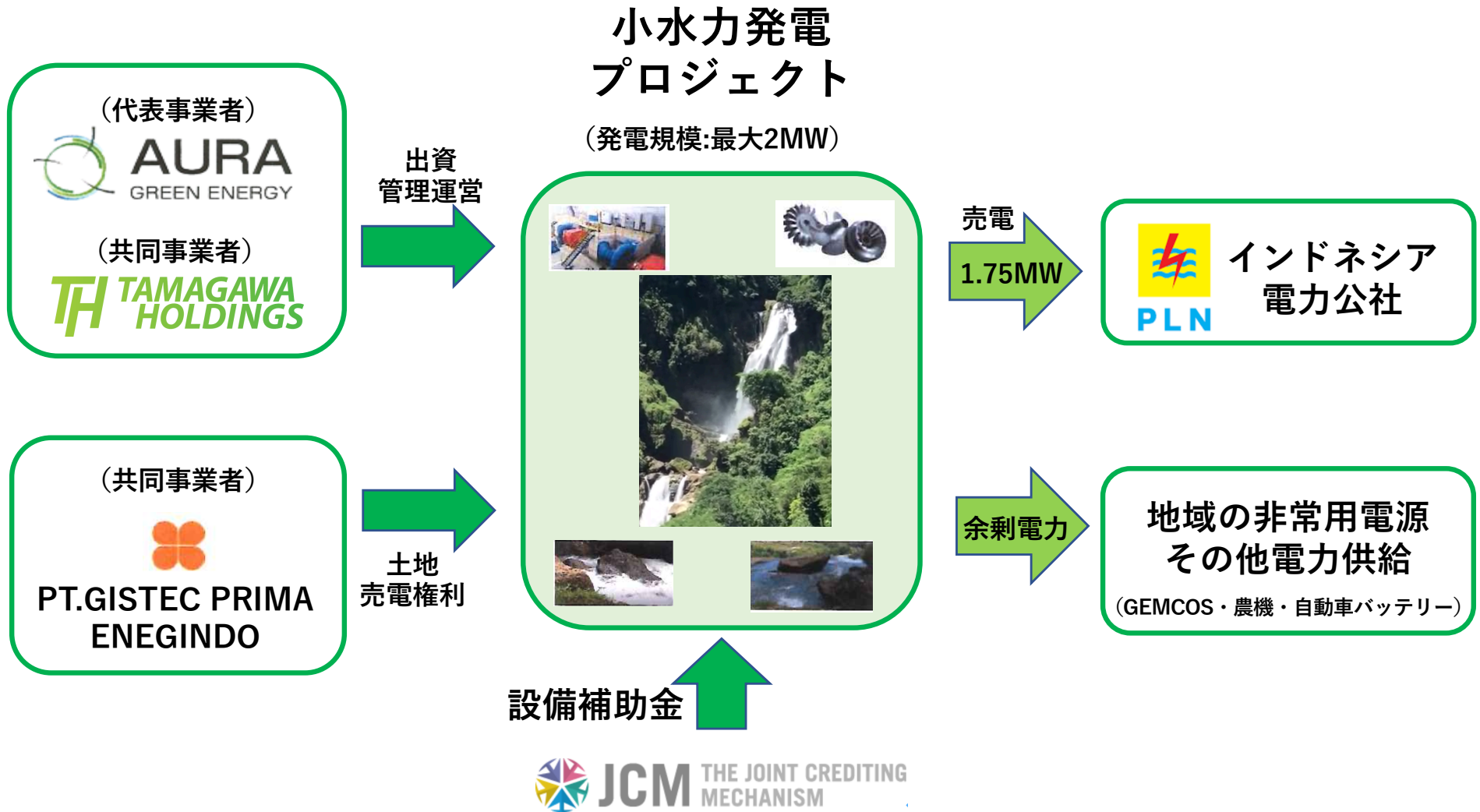
総発電収入（予定）：148百万円（年）

完成予定：2021年中

## グリーンエネルギー余剰電力活用システム 「GEMCOS」の導入を予定

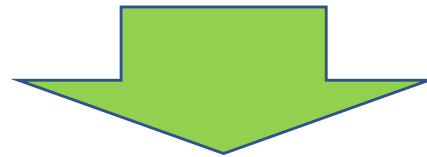
本事業においては、グリーンエネルギー余剰電力活用システム「GEMCOS」(2019年7月10日開示)の導入を予定しております。GEMCOSは、余剰電力を蓄電・整電し、使用機器に最適な電力の供給を可能にするシステムで、電気供給が十分でない当該地域における非常用電源や、自動車等バッテリーの充電の他、スマートアグリ等地域新産業育成への利活用方法を検討しています。

事業計画ストラクチャー



## 二国間クレジット制度（JCM）とは

日本の持つ優れた低炭素技術や製品、システム、サービス、インフラを途上国に提供することにより、途上国の温室効果ガスの削減など持続可能な開発に貢献し、その成果を二国間で分け合う制度。



二国間クレジット制度（JCM）により、温室効果ガスの排出削減・吸収への日本の貢献を定量的に評価が可能となり、日本の排出削減目標の達成に活用するものです。

当社グループは、これからも CO2 削減、地球温暖化への対策に取り組み、SDGs 社会変革に対応できる事業体制の構築に向けて取り組んでまいります。



株式会社多摩川ホールディングス 6838

TEL 03-6435-6933

ir@tmex.co.jp



本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。  
本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性について当社は責任を負うものではありません。  
また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。  
本資料中の計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は経済情勢等今後様々な要因によって計画と異なる場合があります。